

節電行動計画(結果)

節電対策メニュー

施設名		東京支店	東京創薬研究所	富士工場	真岡工場	東京物流センター	東日本物流センター
大口需要家と小口需要家の別		大口	大口	大口	大口	小口	小口
使用制限率		85%	85%	85%	100%	-	-
目標電力削減率		15%	15%	15%	10%	15%	15%
節電実績率	7月	75.5%	79.0%	81.1%	92.8%	-	-
	8月	77.7%	79.3%	78.5%	86.3%	-	-
	9月	69.2%	73.2%	79.7%	84.3%	-	-

日常における節電対策の推進		実施予定	実行確認	実施予定	実行確認	実施予定	実行確認	実施予定	実行確認	実施予定	実行確認	実施予定	実行確認
		照明	使用していないエリアは消灯を徹底する。 白熱灯を電球形蛍光灯やLED照明に交換する。										
空調	事務所等の温度を28 とする(または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28 より若干引き上げる)。 外気取入量を調整することで換気用動力や熱負荷を低減する。 室外機周辺の障害物を取り除くとともに、直射日光を避ける。												
節電啓発	節電担当者を決め、責任者(社長・工場長)と関係全部門が出席したフォローアップ会議や節電パトロールを実施する。 従業員に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。												
その他	自家発電装置を活用する。 蓄熱システム・NAS電池を活用する(夜間電力を有効活用する)。 デマンド監視装置の設定を目標使用電力以下とし、警報発生時には予め決めておいた節電対策を実施する。 設備・機器のメンテナンスを適切かつ定期的実施することでロスを低減する。 冷凍冷蔵設備の設定温度を確認し、品質に影響がでない範囲で適切な温度を設定する。												

生産を中心とした事業活動の休日等への一部シフト

他時期へ	夏期の生産活動を最小限に抑えるため、5月・10月・11月に生産活動の一部をシフトする。 工場設備のシャットダウンメンテナンス期間を夏期に実施する。												
土日へ	事業活動の一部を土日へシフトする(輪番操業を導入し拠点ごとに平日に休日を設けるなど)。												
早朝 夜間へ	早朝出勤による午後半休を導入する。 午後から夜間の出勤による午前半休を導入する。												

その他

その他	8月13日より21日まで9連休とする。 自動販売機や給茶機、EV、食堂、談話室など福利厚生関連で利用を停止又は一部制限する。 使用する動物飼育室や事務室を集約し、利用しないスペースの空調システムを停止する。 工場内でライン別及び工程別に輪番操業を実施する。 1日2回の倉庫内温度測定の結果を評価し、庫内空調の間引き運転を検討する。 冷所保存製品で常温保存に変更予定の製品がある。条件変更が為った際には、現在の保存温度15 を20 に変更する。 駐車場の常夜灯を短縮する。 シャッター開放時間を可能な限り短くすることを徹底し、冷気が外部に逃げるのを防ぐ。												
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

:「実施予定」である項目、または事後に「実行確認」できた項目に印す。